

## 石川県政記念しいのき迎賓館の平成22年度管理状況

施設所管課	企画振興部企画課
指定管理者	KCSコンソーシアム 代表者 株式会社ケイ・シィ・エス
指定期間	平成22年4月1日～平成25年3月31日

### (1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 〔不十分な場合、その理由、指摘事項を記入 新規業務に関しては、新規であることが分かるよう記入〕
展示及び催物の企画及び運営に関する業務	<p>文化事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者の企画運営による展示(企画展)や、屋内外でのイベントの実施により賑わいを創出</li> <li>企画展の開催: 14件 来場者数 94,024名</li> <li>イベントの実施: 15件 来場者数 177,287名</li> </ul> <p>総合案内事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チラシや大型ディスプレイにて兼六園周辺文化施設を紹介</li> <li>英語に堪能なコンシェルジュを配置し、来館される国内外の観光客のニーズに応じた情報を提供</li> </ul>
利用の促進に関する業務	<p>施設の情報提供、広報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページにより、展示やイベント情報などを発信</li> <li>周辺施設や観光案内所、市内ホテルなどに対し、パンフレットやイベント案内を配布</li> <li>イベント情報のマスコミへの情報提供</li> <li>「金沢情報」等のフリーペーパー、「るるぶ」等の観光情報誌などへ情報提供</li> </ul> <p>周辺地域、関係機関との連携・協力の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア団体「まいどさん」にイベント情報を提供するほか、コンシェルジュ1名を「まいどさん」の会員に登録</li> </ul>
使用の承認に関する業務	<p>使用承認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>使用承認の件数 ((2) ②参照)</li> </ul>
使用料の徴収に関する業務	<p>使用料の徴収、納入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>使用料の収入実績 ((3) 参照)</li> </ul>

施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	<p>清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書（清掃基準）に基づき、日常清掃、定期清掃を実施</li> </ul> <p>保守点検</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書（保守点検基準）に基づき、日常点検、定期点検を実施</li> </ul> <p>警備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機械警備 館内 22：00～7：30</li> <li>・巡回警備 館外 夜間1回</li> </ul> <p>小規模修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外灯頭部破損交換修理、消防用設備部品交換修理など</li> </ul>
（その他知事が必要と認める業務）	<p>緊急時の対応・安全管理などの危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理マニュアルの策定</li> <li>・消防訓練の実施 2回（4月2日、10月25日）</li> <li>・職員全員が普通救命講習受講</li> </ul> <p>個人情報の管理状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本協定（個人情報の取扱いに係る特記事項）に基づき、適正に管理</li> </ul>

## （2）施設の利用状況

### ①利用指標（（設定している場合）利用人数、稼働率などの数値目標）

指標	H21年度 （参考）	H22年度	前年度 比	増減理由
入館者数 40 万人	—	816 千人	皆増	初年度のオープン効果に加え、ピカソの版画展、「国際ガラス展」のプレ展示などの魅力ある展示や、ねんりんピック 2010 などの大きなイベントの開催

### ②使用承認等の状況

	承認件数	不承認件数	不承認理由
貸館	382	0	
駐車場（入庫台数）	115,549	—	

## （3）使用料の収入実績

### 利用料金の収入及び減免の状況

（千円）

	収入額	減免額	減免理由
貸館	8,094	5,892	しいのき迎賓館条例施行規則第6条 大学コンソーシアム石川のセミナー 室利用及び、県主催又は共催による 文化事業等としての利用
駐車場	46,896	0	

## (4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料	74,121	人件費	21,837
貸館使用料収入	8,094	文化事業費	30,180
駐車場使用料収入	46,896	総合案内業務費	6,991
		光熱水費	24,224
		建物保守管理業務費	33,263
		事務費、保険料など	7,516
合計	129,111	合計	124,011
収支差額	5,100		

(5) その他、県が必要と認める事項(管理の実態を把握するために必要な事項)

## ①利用者の意見等

(ア) 利用者アンケート結果(平成22年4月28日~6月30日実施 有効回答数86件)

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	58.1%	27.4%	14.5%	0%
施設の維持管理	62.1%	34.5%	1.7%	1.7%

(イ) アンケートのご意見(主なもの)と対応

ご意見	対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントの回数を増やして欲しい。</li> <li>・ 若い人の作品展示を増やして欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ しいのきコンサートの回数増に加え、ギャラリーの企画展と一般利用をうまく組み合わせ、空いた週を作らないように努めている。</li> <li>・ 九谷焼技術研修所卒業生や金沢卯辰山工芸工房の研修者などの作品展示を行った。</li> </ul>

(ウ) その他利用者からの意見、苦情、要望

年月	内容	対応
平成22年7月	駐車料金が低い。割引が分からなかった。英語表記が足りない。	割引制度内容の記載や英語表記の徹底など、サインの改善を行った。

## ②事故、故障等

年月	内容	対応
	特になし	

## ③その他報告事項など

特になし
------

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見（工夫、改善点）
①サービスの維持・向上や利用促進に向けた取組みが行われているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートやコンシェルジュに寄せられた意見に対して、サインを追加するなどの改善に取り組み、利用者へのサービス向上に努めている。</li> <li>・オープン効果に加え、企画展示やイベントの充実、観光情報誌への情報提供などの積極的な広報活動の結果、利用者は長期構想の目標約40万人を大きく上回る約81万人となった。</li> </ul>
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持管理については、仕様書に基づき適切に行うとともに、施設管理要員の配置は、入館者のニーズに対応できる体制を確保するなど、効率的な管理に努めている。</li> <li>・自然採光が活用できるガラス張りの増築部分で、照明の間引き点灯を行ったり、空調については、春と秋の時期は、換気窓の開放による自然換気に対応するなど、積極的に省エネルギーに取り組んでいる。</li> </ul>
③適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント業務管理者や施設管理の専門スタッフが配置されており、また、業務に必要な教育がなされている。</li> <li>・緊急時対応マニュアルの策定や消防訓練を実施するとともに、職員全員が普通救命講習を受講するなど、安全対策を適切に行っている。</li> </ul>
④その他、必要と認める事項（例：苦情処理、個人情報保護）	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本協定における個人情報の取扱いに係る特記事項について職員に周知し、適切な情報管理を行っている。</li> </ul>
総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展示やイベントの企画運営や、施設管理のノウハウを十分に活かし、効率的かつ効果的な管理運営が行われている。</li> </ul>

○評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を上回っている
- B（良）：仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C（可）：仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っている

○総合評価

- A（優）：適正であり、優れた実績をあげている
- B（良）：適正である
- C（可）：概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D（不可）：改善が必要である

※評価にあたっては、利用者アンケートの結果を考慮するものではないので注意すること

(7) 助言・指摘事項

特になし